

様式C－19

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 12 日現在

機関番号：33106

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009–2011

課題番号：21520642

研究課題名（和文） 児童英語教育における DVD 利用 CALL と異文化交流の実践

研究課題名（英文） The Role of CALL and International Exchange for Elementary School English Education

研究代表者 山本 淳子（YAMAMOTO JUNKO）

新潟経営大学・経営情報学部・准教授

研究者番号：30372832

研究成果の概要（和文）：日本の小学生（高学年）に同世代の英語話者たちと交流する（手段：手紙や E メール）機会を設けることが、英語の実用性を理解させ、学習者自身が自ら進んで意義を見つけ楽しみのために学習をする内発的動機につながることを質問紙の内容分析・クラスルームリサーチから導き、それを論文にまとめた。

研究成果の概要（英文）：Overall, this experimental research has yielded positive results showing that children in this study responded favorably to literacy instruction. Writing and reading practices centering on international exchanges can be said to have motivated the children to learn how to read and write. Several methods proved to be entertaining to children. They especially like creating original posters introducing their school and towns. Activities that inspire their creativity and originality turned out to have motivated the children the most.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合 計
2009 年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2010 年度	1,300,000	390,000	1,690,000
2011 年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
総 計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育

キーワード：小学校英語教育・リテラシー指導・国際交流

1. 研究開始当初の背景

2011 年から小学校で英語が必修化となつたが準備不足や環境の不備などから、担任をはじめとした指導者から不安の声が聞こえる。それらの不安を解消するため、小学校の教員が活用するための PC 学習プログラムや、電子黒板を利用したさまざまな実践を行い、

その結果を検証したいと考えた。また、高学年（11 歳、12 歳）になるとピアジェが示した「形式操作期」に入り、分析的思考を持つようになるため、文字を利用した学習にも興味を持つ。映画の英語字幕または CC キャプション学習者の聴解力、語彙力、理解力全般に良い影響を与えたとの研究結果は過去に発

表されているが、文字指導が行われていない小学校英語教育においては教室単位での先行研究が少ない。そこで文字指導の実践、その成果の検証などが必要であると考えた。

2. 研究の目的

小学校のうちから四技能をバランスよく身につけさせることが肝心である。小学校の英語教育においては歌やゲームなどを利用したリズミカルなアプローチで楽しく英語に親しませることが第一目標になっていることから、そのアプローチと、英語を第二外国語としている国々との交流を組み合わせることを目的とする。英語がコミュニケーションの手段になることを実感させ、英語学習に対する動機付けを高めること、成長段階に応じた指導法、教材を開発することを目指す。

3. 研究の方法

海外の交流校との計画：日本の研究協力者の担当するクラスとクラス単位で交流可能な学校を選び交流を進める。本研究では、日本語・日本・異文化に興味を持つ海外の小学生と同等の立場で、互いにギブアンドテイクの姿勢で交流を進める。二ヶ国語（日本語・英語）の映画利用PC学習システムを双方が利用することで、話題を共有するとともに双方の言葉や文化に対する意識を高め外国語学習に対する動機付けをはかる。リアルタイムで、日本と海外にパソコン電話ソフトのSkypeやWEBカメラを設置して音声や映像による顔が見える交流を提案する。以上、段階的に計画を立てて実現可能な研究実践を行う。

4. 研究成果

国際交流を行うにあたり、マルチメディア行った結果、子どもたちの英語の読み書きを中心とした英語活動に対する動機付けを調べた。

この実践の結果、このような動機のもと子ど

もの国際交流のプロジェクトに、開発したPC学習システムを導入した結果、日本の小学生（5、6年生）の英語学習に対する意欲が高まったことを検証できた。内容分析では動機づけの向上について統計上の有意差がみられた（ $P = 0.001131 < 0.01$ ）。

国際交流の概要と小学生の意識調査の詳細について論文を発表した。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計4件）

①Junko Yamamoto The Roles of Grammar Instruction in English Writing Class、新潟経営大学紀要、査読無、第18号、2012、53-69

②山本淳子 小学校英語教育における国際交流の役割と意義、新潟経営大学紀要、査読無、第17号、2011、103-116

③山本淳子 小学校英語教育におけるICTの活用について、新潟経営大学紀要、査読無、第16号、2010、111-121

④山本淳子 小学校英語教育におけるインドとの国際交流の試み—インドの中間所得層における英語習得意欲から学べること—、日本「アジア英語」学会 査読有、第12号、2010、5-20

〔学会発表〕（計5件）

①Junko Yamamoto, Hiroyo Nakagawa
Teaching English reading and writing to young learners through international exchange, 8th Annual CamTESOL Conference, 2012, Feb. 25th, National Institute of Education, Phnom Penh.

②山本淳子 小学校英語活動におけるメディアを活用した国際交流、日本メディア英語学会 第1回年次大会、2011年10月23日、京都産業大学

③山本淳子 小学校英語教育における国際交流と文字学習の役割と意義、第11回小学

校英語教育学会(JES)大阪大会、2011年 7
月 18 日、大阪教育大学
④山本淳子 小学校英語教育における英語学
習紙の活用、日本時事英語学会52回年次大会、
2010年10月3日、東海大学高輪キャンパス、
⑤山本淳子 小学校英語教育におけるニュ
ースの活用、日本時事英語学会中部地区第 55
回研究例会、2009 年 12 月 19 日、愛知淑徳
大学

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

出願年月日 :

国内外の別 :

○取得状況 (計 0 件)

名称 :

発明者 :

権利者 :

種類 :

番号 :

取得年月日 :

国内外の別 :

[その他]
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

山本 淳子 (YAMAMOTO JUNKO)
新潟経営大学・経営情報学部・准教授
研究者番号 : 30372832

(2) 研究分担者

()

研究者番号 :

(3) 連携研究者

()

研究者番号 :